

第253回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成24年2月24日（金）10：08～10：24
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）雪による被害状況（平成24年2月22日 15時00分現在）

災害対策課長：別紙資料により説明

平成24年2月22日15時現在、被害状況については前回と比べ重傷者2名、軽傷者1名増加している。災害対策本部の設置状況については前回と変わりなし。積雪の状況については、直近の積雪深が全ての地点で減少している。

（2）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

平成24年2月24日午前8時現在、最小値が西会津町野沢小学校の0.03 $\mu\text{Sv/h}$ 、最大値は飯舘村長泥コミュニティセンターの5.96 $\mu\text{Sv/h}$ となっている。長泥コミュニティセンターについては1ヶ月前は約7 $\mu\text{Sv/h}$ あった。積雪の減少に伴う若干の揺り戻しはあるが、概ね横ばい又は減少傾向を示している。

（3）2号機原子炉压力容器下部温度計の指示値上昇について

原子力安全・保安院：別紙資料により説明

2号機の压力容器下部温度計の一つが結果的に故障ということになり、19日には注水量を減少させており、22日に通常の注水量に戻っている。その際、温度の上昇は当然予想されることではあったが、残り2つの温度計の温度上昇率に若干差が見られる。23日16時135°方向で49.0、270°方向で37.0、24日0時には135°方向が最高50.3まで上昇、8時では若干下がり48.1。また、これら温度計の1.5m下に存在する温度計にも温度のゆるやかな上昇傾向が見られる。

保安院としては、現段階では若干の温度上昇が見られるものの、全体的には冷却が十分されていると考えており、引き続き故障の可能性も検証しつつ温度計、ガス管理システムの監視結果を注視していく。

松本副知事

温度の上昇は注水量を減らしたことのみの原因か。

原子力安全・保安院

注水量を減らせば当然冷却効果は低くなるので温度は上昇するが、今気になっているのは温度の上昇率が2つの温度計で違うということである。その原因を調べる必要があると思っている。故障の可能性も含め、現在調査をしている段階である。

松本副知事

非常に関心を持って見ているので、ぜひ適切、迅速な情報提供をお願いしたい。

(4)「原子力損害賠償に係る巡回法律相談の御案内」について

原子力損害対策担当理事：別紙資料により説明

3月の巡回法律相談の日程が決まったのでお知らせする。実施会場は7方部8市町で、別紙裏面の通りの日程で行う。

(5) 県認定除染業務講習会について

生活環境部長：別紙資料により説明

県主催の除染業務講習会は、今年度末で3,400名程度の方の受講を見込んでおり、24年度についても500人規模の講習会を15回程度開催する予定としている。ただ、それでも場所によっては受講機会が足りないという要望があるため、市町村、財団法人等が主催する講習会についても認定制度を設け、県の講習会と同等の効果を持たせたいと考えている。

認定要件は、市町村か公益社団・財団法人主催で、県が行っている講習内容（実技含め2日間）と同等のカリキュラムを有すること等で、要件に合致すれば知事の修了書を交付している県の講習会と同等の効果を有するものとして取り扱って行きたいと考えている。色々な相談や要望をお聞きしていきたいので、よろしく願います。

(6)「リアルタイム線量測定システム」のWebページの閲覧操作について

文部科学省（受注者：富士通(株)）：別紙資料及びスライドにより説明

文部科学省より「放射線モニタリング統合システム」の受注を受け、今回福島県内の2,700箇所の線量計からデータを受け取り公開するシステムを担当させていただいている。

「リアルタイム線量測定システム」は福島県HPにリンクが貼られている。トッ

ページの「空間線量」を押していただくと、「リアルタイム線量測定システム」のリンクがある。文部科学省HPからは、「放射線モニタリング情報」を押していただくと、トピックスの左に「リアルタイム線量測定システム」がある。

「リアルタイム線量測定システム」トップページで各地域を選ぶと、各地域の測定ポイントの数が表示される。この数をクリックすると、そのデータ一覧が右側に表示される。一覧の線量率をクリックすると、線量の高い順や低い順に並びかえることもできる。観測所名をクリックすると、地図上に現在の線量が、画面下部に一日分の時系列グラフが表示される。地図上で他のポイントを選ぶ事もでき、グラフには最大値、平均値、最小値が表示される。また、週単位・月単位に切り替える事もできる。

操作方法は以上である。現在文部科学省と協議をしており、3月末までに全機能公開できるよう鋭意努力している。

松本副知事

今は試験運用だが、最終的にはどのような機能が追加されるのか。

富士通(株)

時系列のデータをダウンロードできるようにしたり、他の機関で取っているデータも併せて取り込み表示することを予定している。

松本副知事

他の機関が扱っているデータはいつ頃までに閲覧できるようになるのか。

富士通(株)

3月末までにはやらせていただく。

松本副知事

このシステムを活用すると、それぞれの家庭でも知りたい所、身近な所の空間線量を知ることができる。かなり画期的なことではないかと思う。各担当の方で県民の方々への周知をよろしく願います。

(7) 行方不明者の身元判明について

警察本部警備監：口頭により説明

これまで発表していた行方不明者数は216名だが、今週2件のDNA合致があり、現時点で214名となった。

松本副知事：

メディアからも報道があるように、原子力損害賠償紛争審査会の議論がかなり進んでいる。県としては、県民の方々の意見、あるいは市町村の意見をしっかりと紛争審査会に反映させ指針に盛り込んでもらうことが大きな役割だと思うので、市町村の方々、県民の方々の意向を十分に把握するように努めてしっかりと提言できるよう準備をお願いしたい。

今回は、3月1日（木）午前10時から開催する。